

わくわく城東

今月号の子育て情報を紹介
**ピックアップ
インフォメーション**

赤ちゃんの成長や育児のことで気になっていること、
お話ししてみませんか?

にこにこ広場

無料・
要申込

- 日時** 3月14日(木)・4月11日(木)・5月22日(水)
全日13:30~15:30
- 定員** 20組(先着順) ※参加はお一人様一回となります
- 場所** 城東区保健福祉センター(保健活動)
TEL.06-6930-9968 まで
- 申込** 城東区保健福祉センター(保健活動)
TEL.06-6930-9968 まで
- 対象** おおむね2か月のお子様とその保護者
(3か月健診を受ける前のお子様)
※初めて出産された方に限る
- 内容** 赤ちゃんの計測、手遊び・保健師のお話、
参加者交流会、妊婦さんとの交流会
- 持ち物** 母子手帳、普段お使いのおもちゃ

問合せ: 城東区保健福祉センター(保健活動) TEL.06-6930-9968

城東図書館 おすすめ 新刊よんでみて



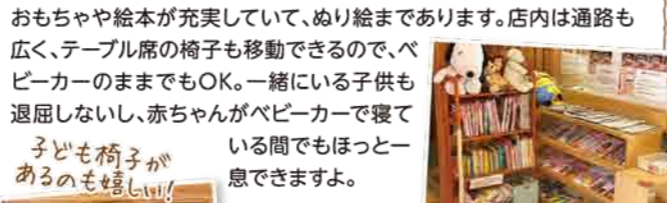
どっせい!!ねこまたずもう
作・絵: 石黒 亜矢子 出版社: ポプラ社
2018年7月発行 26.5x21.5cm 36ページ

さあ、百年に一度の妖怪たちの大相撲大会のはじまりはじまり! 負け知らずの大機織、にやんこのやまに対するのは、がまのぬま、たこつぼまる……。大迫力のしかけページで、どっせい! あげやかに技が決まります。かつて城東区内にあった大阪国技館をしのんで、おすもうの絵本を読んでみませんか。

子づれDEどうぞ

パパもママも子どもも!
ゆったり落ち着いた時間を楽しめる喫茶店

この深江橋のコメダ珈琲店では珍しく、ちょっとしたキッズコーナーを設けています。お客様の声を元に子連れでも入りやすい工夫をされているそう。男の子でも女の子でも楽しめるよう、おもちゃや絵本が充実していて、ぬり絵まであります。店内は通路も広く、テーブル席の椅子も移動できるので、ベビーカーのままでもOK。一緒にいる子供も退屈しないし、赤ちゃんがベビーカーで寝ている間でもほっと一息できますよ。



珈琲所 コメダ珈琲店 深江橋店
城東区永田2-17-15 TEL.06-6964-7277
7:00~22:00 定休日なし <http://www.komeda.co.jp/>

発行 ||| 「子育てするなら城東区推進委員会」06-6930-9857
編集 ||| 城東区.com
Text/石井麻優子、ろこびん Design/maomao
協力 ||| 城東区子育て支援連絡会、森岡歯科医院、珈琲所 コメダ珈琲店 深江橋店

取材協力店募集

「わくわく城東」では、紙面に子育て情報を提供して下さるお店、病院を募集しています。詳しくは下記、問合せフォームまでご連絡ください。
<https://ws.formzu.net/sfgen/S25077359/>

まちのお医者さん

[森岡歯科医院]

「虫歯予防にはブラッシングはもちろんです、当院には、『フッ素洗口』といってフッ素でうがいすることで虫歯予防できるものもあります。歯が痛くない状態で受診し、事前に虫歯予防することが大切です。」と院長の森岡先生。先生は多趣味で、休日の楽しみはゴルフと釣り。つい先日は、城東区のドクターで結成されたゴルフチームでゴルフ旅行をされたそうですよ。



城東区蒲生1-1-15 (各線 京橋駅より徒歩4分)
TEL.06-6934-0418
<https://morioka-dental.jp/>

Doctor **森岡 敦** 先生
経歴 ■ 平成12年5月城東歯科医師会 入会 / 平成12年7月森岡歯科医院 開院

津波がきたら

城東区では、寝屋川・第二寝屋川・平野川・平野川分水路および淀川、大和川の氾濫、内水氾濫、南海トラフ巨大地震による津波浸水が想定されています。

大阪市のHP上や、区役所には「**水害ハザードマップ**」があります。このマップを参考に、いざというときに安全に避難できるよう、**安全な避難場所**(災害時避難所・水害時避難ビル等)や**避難経路を普段から確認**しておきましょう。



小さな子どもといっしょに避難するときに 気をつけること

- その1 水位を確認する**
水位が腰まである場合は、無理せず高い場所で救助を待ちます。
- その2 運動靴を履く**
避難する際、長靴は歩きにくいので、運動靴を履きます。抱っこで連れて行く場合も、靴を履かせてください。
- その3 抱っこひも、もしくはお互いの体をロープで結ぶ**
避難用の荷物もあるため、「抱っこ紐」を使える年齢なら抱っこして避難。子どもが歩く場合は、子どもの胴体と大人の腰をロープで結んで、はぐれないように避難します。

目ごろから避難バッグの準備を

子どもがリュックを背負える年齢であれば、「**子ども用の非常用持ち出しバッグ**」を作って、自分の分は自分で持てるようにするのもオススメです。**子どもと一緒に中身を入れれば、防災意識を高める**こともできますね。

